

体験を通して学ぶ協同の授業づくり

大村はま先生は「熱心と愛情、それだけでやれることは、教育の世界にはないのです。教師としては、人を育てる能力、教師の教師たる技術をもっていなければ困ります。」と著書に記しています。教育のプロである教師には多様な資質・能力が求められています。中でも学習指導力は子どもの学力を大きく左右するだけに、教師をやめるその日まで日々研究と修養を積み重ねて向上を図らなければなりません。ただし、学力を「テスト学力」のような狭い範囲でとらえ、点数を上げるための指導に終始しては、学習者が本来もっているはずの学ぶ喜びを味わわせることができません。日本の子どもの学習に対する興味・関心が、他国の子どものそれと比べて低いのも、教師の「何を教えるのか」「どのように教えるのか」に重点に置いた指導に一因があるように思います。

来年度より順次全面実施される新学習指導要領の基本的な考え方は、児童生徒が基盤的な学力を定着させながら、他者と協同しつつ自ら考え抜く自立した学びの構えをもてるようにすることです。この文脈からは教師が教える授業から児童生徒が学ぶ授業への転換を意図していることが伝わってきます。教師から一方的に教えられるよりも、仲間の力を借りながらも自分の力で学び取ったり間違いに気付いたりすることは、一人一人の子どもに確固たる学力を育みます。ですから文科省は「主体的・対話的で深い学び」という表現で学習過程の質的改善を求めているのです。

協同学習がめざす学びはまさに「主体的・対話的で深い学び」そのものです。仲間と心を合わせて学ぶ活動を通して確かな学力を身に付けるとともに、コミュニケーション能力や協調性・他者を尊重する民主的な態度等を育みます。学ぶ喜びを実感できる協同学習は、小学生から大学生までの幅広い層に支持されています。

この講座では「教師が教える授業」ではなく「子どもが学ぶ授業」を体験し協同学習の良さを実感して、皆さんが授業づくりのヒントを受け取ることをねらいとしています。「子どもが喜んで取り組む授業をしたい！」「子どもの生き生きと活動する姿がみたい！」と願っている方は、ぜひ、ご参加ください。

1. 期 日 2019年8月25日（日）
2. 時 間 10時～16時30分（昼食休憩1時間）
3. 場 所 中京大学名古屋校舎 5号館522教室 (<http://www.chukyo-u.ac.jp/>) を

ご参照ください。) 駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

4. 参加費 3,000円

5. 日 程

10:00～10:40	講義「協同の原理に基づいた授業づくり」
10:40～11:30	「協同の原理に基づいた授業」のDVDを視聴
11:30～12:00	DVDを視聴して気付いたことを共有
13:00～14:50	「協同の原理に基づいた授業」を体験
15:00～15:50	授業体験から学んだことを共有
16:00～16:30	講座のまとめ

6. 内 容

1) 協同の原理に基づいた授業体験

ジグソー法や特派員、メリーゴウラウンド等の手法を取り入れたアクティブラーニング型の授業を体験します。交流することでお互いが高まり合えることや安心して学べる良さを実感してください。

2) 協同の原理に基づいた授業の紹介 (DVD視聴)

協同学習に基づいた授業をDVDで観ると「目からウロコ」の気持ちを味わえます。一人では授業を観て気付く内容に限られますが、仲間とお互いの気づきを交流すると大きな学びに広がります。講座はすべて協同の原理に基づいて進めていきます。

7. 参加申し込み

資料準備の都合上、あらかじめお申し込みください。締め切りは8月18日(日)です。参加を希望される方は、次のアドレスに下記の必要事項を添えてメールしてください。

水谷茂 (日本協同教育学会認定講師・本講座運営担当)

メールアドレス smizutani19@me.ccnw.ne.jp

8. 必要事項

- ・氏名、男女別、年齢 (事前にグループ編成をするのでご協力ください)
- ・所属
- ・住所
- ・メールアドレス